

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-83726(P2014-83726A)  
 【公開日】平成26年5月12日(2014.5.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-024  
 【出願番号】特願2012-233032(P2012-233032)  
 【国際特許分類】

**B 2 8 B 1/20 (2006.01)**  
**C 0 4 B 28/02 (2006.01)**  
**C 0 4 B 22/10 (2006.01)**  
**C 0 4 B 22/12 (2006.01)**  
**C 0 4 B 22/14 (2006.01)**  
**B 2 8 B 21/32 (2006.01)**

【F I】

B 2 8 B 1/20 B  
 C 0 4 B 28/02  
 C 0 4 B 22/10  
 C 0 4 B 22/12  
 C 0 4 B 22/14 A  
 B 2 8 B 21/32

【手続補正書】  
 【提出日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

遠心成形によるコンクリート製品の製造方法であって、型枠に投入されたコンクリート組成物の中速遠心成形工程中であって、当該工程の目標回転速度に到達したとき以降に、炭酸カリウムを含有する水性液体を、遠心成形中のコンクリート内面に投入することを特徴とする、コンクリート製品の製造方法。

【請求項2】  
 炭酸カリウムを含有する水性液体の投入を、中速遠心成形工程中であって、中速遠心成形工程の目標回転速度に到達したときと中速遠心成形工程終了時との中間の時点以降に行う、請求項1に記載のコンクリート製品の製造方法。

【請求項3】  
 炭酸カリウムの投入量が、投入されたコンクリート組成物によって成形される管の内表面の面積当たりの量で表して5乃至1,000g/m<sup>2</sup>である、請求項1又は2に記載のコンクリート製品の製造方法。

【請求項4】  
 炭酸カリウムを含有する水性液体が、さらに、凝集促進剤を含有する、請求項1乃至3のいずれか一項に記載のコンクリート製品の製造方法。

【請求項5】  
 炭酸カリウムを含有する水性液体の投入の前もしくは後、又は当該水性液体の投入と同時に、凝集促進剤を含有する水性液体を投入する、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の

コンクリート製品の製造方法。

【請求項 6】

凝集促進剤の投入量が、投入されたコンクリート組成物によって成形される管の内表面の面積当たりの量で表して  $0.1$  乃至  $20 \text{ g/m}^2$  である、請求項 4 又は 5 に記載のコンクリート製品の製造方法。

【請求項 7】

コンクリート製品の製造に使用するコンクリート組成物がスルホコハク酸（エステル）塩を含有しない、請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載のコンクリート製品の製造方法。

【請求項 8】

投入されたコンクリート組成物が硬化促進剤及び／又は凝集促進剤を含有しない、請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載のコンクリート製品の製造方法。